

子供の歌に就いて

外山國彦

近頃、童謡などと云ひまして、子供の歌が澤山作られるやうになりましたが、私の考へでは、其等の歌を見ますとまづ歌詞よりも、歌曲を作る人々が、子供との交渉がない、子供を従つて了解してゐないといふ事をつくづく感じます。

大人が作つた子供らしい節と、子供が自然に歌ふ節とは大分異つてゐるやうに思はれます。子供らしい氣分の出ない大人が、作曲いたしますと、子供が知らぬ間にうたひ出した節とは、どうしても同一のものが出来る事はないのであります。子供の歌を餘りに暗示的に考へ過ぎた人は、大人びた曲を作つてしまひます子供の歌の歌詞を見ると、大人がつくつたのでなければ、子供自身の歌、歌と云ふよりは、寧ろ言葉で話してゐる位のものでありますから、作曲もその積りでやらなければなりません。

作曲は専門の音楽家でなければ出来ないものであるかのやうに考へてゐる人々もありますが、子供の

歌が子供の日常話してゐる言葉と左程ちがはないものでありますから、作曲もさうむづかしいものではなくともよいのであります。子供の歌の歌詞とか歌曲は、子供に接する事の多い人々が作らなければ、眞の物は出来なからうと思ひます。幼稚園、小學校の先生方とか、家庭のお母さん方とかが、一番適任者ではなからうかと思ひます。

此處に作曲者が十人あつて、十曲を作つたとしませう、その中では子供の眞の歌の節がどれだけ出来るか、あやしいものであります。昔から傳つて來た在來の日本の歌でも、何時誰が作つたか、といふ事の解らないものが多いのであります。今の音楽家達が名曲と稱してゐるものも、色々の時代に色々の人によつて作曲されたものが、自然とよいものだけ残つたのであります。それですから、音楽家、専門家はかりでなく、皆で一般的に試みるのがよろしいのです。

子供の歌は實際の言葉をこるため、やゝもするこ
野卑な言葉が用ひられてゐる事がありますが、節の
方になりますと、言葉があつてそれに作曲されるも
のでありますから、歌詞の方さへ注意すれば、歌曲
が下品になる事はないのであります。歌の言葉には
無干渉でも、歌曲そのものが、子供らしいものであ
れば、子供自身も喜んで歌ひますし歌曲の價值も充
分な事と思ひます。それ故、歌詞も歌曲も共にそろつ
て、眞の意味で子供らしく、立派なものであつたら子
供も大いに嬉しがつて歌ふでありませうし、音楽と
して専門的に考へてすぐれてゐるものであります。

大人の歌ふ子供らしい歌と、子供の歌ふ子供の歌
とは、區別がはつきり解るものであります。眞に子
供として尊いのは、子供が無意識のうちに、餘念な
く遊び戯れてゐる間に、自然と口から出た言葉と節
とであります。子供と没交渉な専門家が苦心して
作つたものではないのであります。それ故子供以外
の人が子供の歌を作る事はなか／＼出来にくいもの
であります。そのうちでも子供に接し子供を了解
してゐる人々の方が比較的よい歌が作れるだらうと
云ふ事にどゞまるのであります。

近頃、音楽教育が一般に普及されました結果、幼稚
園の先生方でも、新しい教育を受けられたお母さん
達でも、音楽に對しては相當に興味と理解とを有し
て居られる事と思ひます。それでさう云ふ方々が、奮
發して作曲されたなら、大變喜ばしい事と思ひます。

幼稚園の唱歌科の實際教授の事はひろく見ません
から、よく解らないのですが、どうも私は子供等に
唱歌を強制してゐるやうに見えます。唱ふ時にも大
聲でが／＼歌つてゐるのを聞きます。歌は、通常
人と話をする時位の聲を少し大きくする程度が、自
然でもあり、美しく聞えます。この點はよく注意し
て頂きたいと思ひます。

つまり私の考としては、以上述べました理由から、
子供の歌の作曲作歌は、音楽家専門の仕事ではなく
して、子供を了解する事の多い人々に依つて、なさ
るべきものであると思ひます。未來の童謡は、子供
自身をのぞいては、家庭のお母さん、幼稚園、小學
校の先生方に依つて盛んに作らるべきものでありま
す。それと同時に、子供の歌の歌ひ方等も、もう一
歩研究をすゝめて、自然に子供らしく歌ふやうにさ
ねなければならぬと思ひます。